

国内初、チャットボット学習の手間を半減させる「モビコンソール」を開発

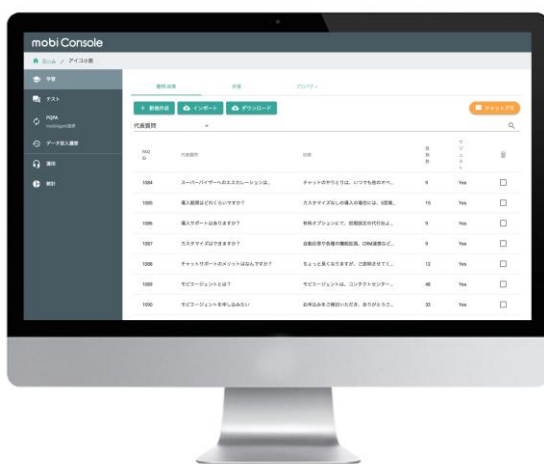
～ AI 専門家による回答精度向上や教師データ作成を半自動化する学習プラットフォーム ～

チャットボットなど AI 技術を活用したコミュニケーションプロダクトを開発するモビルス株式会社（所在地：東京都品川区、代表取締役社長：石井智宏）は、この度、国内初のチャットボット PDCA 学習プラットフォーム「モビコンソール」を新たに開発しました。「モビコンソール」は、チャットボット向けの AI 教師データ管理、継続的な学習（チューニング）を支援するプラットフォームで、一般的な学習フローに比べて最大 50%程度の効率化※1 を可能にします。

これまで、チャットボットの教師データ作成や回答精度の向上は、多くの場合、専門のコンサルタントやエンジニアに頼らざるを得ませんでした。「モビコンソール」は、そんな専門家による AI 学習プロセスやデータチューニングのノウハウを分析、そのエッセンスを機能化することで、AI を専門としない企業の担当者でも、自ら PDCA ベースでチャットボットを賢くしていくことができる AI 学習プラットフォームです。

2018 年 10 月 1 日より、一部の基本機能が利用可能なモビコンソールβ（ベータ）版を月額 10 万円（税別）のトライアル価格にて提供開始します。また今後、協力ユーザーからのフィードバックをもとにアップデートを進め、2019 年 1 月を目途に正式版（価格未定）をリリースし、3 年以内に、チャット対応・チャットボットのハイブリッド対応をするコンタクトセンターや、チャットボットの導入を支援するコンサルティング企業などをターゲットに 100 社への導入を目指します。

※1 IBM Watson (NLC) を利用して、一連の学習プロセス（教師データ作成・学習・テスト）を行った場合との比較（モビルス調べ）



チャットボット PDCA 学習プラットフォーム
mobi Console

昨今、働き方改革や人材不足を背景に、チャットボットが様々な業界で企業への導入が進んでいます。そんな中、導入企業が抱える課題として、「教師データ作成」や「回答精度の向上」があげられます。

具体的には、チャットボットの回答精度が上がらず、精度向上のためにチューニングを専門の業者に委託する場合コストがかさんでしまう点や、データ管理が難しく、AI 学習のキモである教師データのバージョン管理で混乱してしまう点などです。これらは多くの場合、AI 専門の知識が必要不可欠なため、専門のコンサルタントやエンジニアに頼らざるを得ませんでした。

「モビコンソール」は、このような現状のチャットボット運用の現場の悩みを解決し、AI のノウハウを蓄積したいという自

社運用ニーズに応えるために開発したものです。さらに将来的には、統計処理を施した顧客の膨大な対応ログやAIの教師データをベースとして、チャットボットの教師データ作成支援を強化する機能開発もスコープに入れています。

▼国内初、チャットボットPDCA 学習プラットフォーム「モビコンソール」概要

提供開始日：＜ベータ版＞ 2018年10月1日 ＜正式版＞2019年1月（予定）

価格：月額10万円（トライアル価格）

モビコンソールが解決する、チャットボット運用の悩み



日々のチャット対応ログから無理なくチャットボットを賢くできる



AIコンサルの教育ノウハウをもとに自社でチューニングができる



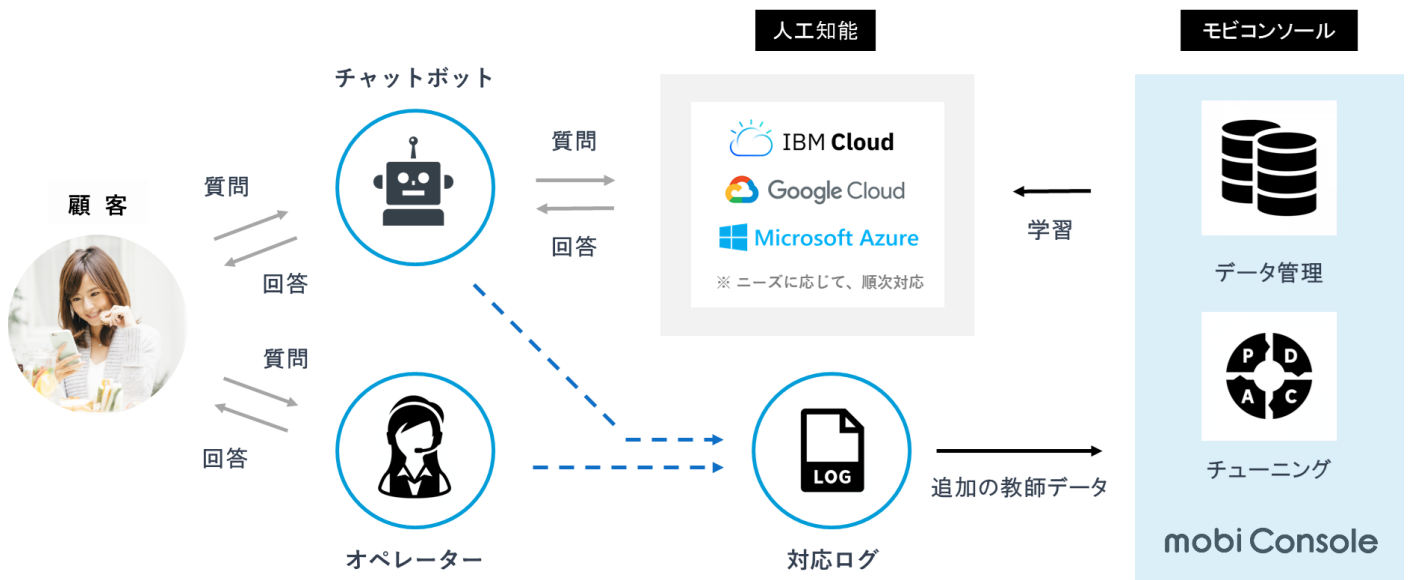
複数のAIに対応した汎用データ形式で教育のバージョン管理ができる

モビコンソールの主な特長とシステムイメージ

モビコンソールは、チャットボットの作成・データチューニングに欠かせない、様々な特長をもっています。

- ① ひとつの教師データで複数のAIに対応、簡単にAIの切り替えや乗り換えができる
- ② AIベースの独自の学習プロセスにより、AIの専門家でなくても回答精度を高めることができる
- ③ データ作成、チューニングを自由に試せるテスト環境と、本番環境の切り替えができる
- ④ 複数担当者による学習などで、混乱しがちな教師データのバージョン管理ができる
- ⑤ ユーザーの入力ワードから質問を予測、自動提案することで誤答率を低下させる
- ⑥ チャットの対応ログから教師データの候補が提案され、簡単に追加できる
- ⑦ チューニング後の回答精度の一括テストが可能、教師データの更新内容の差分が確認できる

モビコンソールでは、PDCAベースでAIデータのチューニングを続けることによって、チャットボットの回答精度を高めていくことができます。チャットボットによる自動応答による対応ログに加えて、オペレーターによる有人チャットサポートで蓄積される生の顧客の質問も追加の教師データとして取り込むことが可能です。



モビルス株式会社について

モビルスは、人々のコミュニケーションを楽しく、豊かにするソリューションを開発する Communicative AI Company です。AI チャットボット（自動応答）と有人応答によるシームレスなチャットサポートを実現する「モビエージェント（<https://www.mobi-agent.com/>）」をはじめとして、AI とモバイルテクノロジーを活用したソリューション開発を得意としています。

所在地：東京都品川区西五反田 3-11-6 サンウエスト山手ビル 5F

会社名：モビルス株式会社

代表：石井智宏

設立日：2011年9月

事業：人工知能とモバイル技術を活用した、コミュニケーションとIoTソリューションの開発

電話：03-6417-9523

ウェブ：<https://mobilus.co.jp/>

石井 智宏 プロフィール



1973年千葉県生まれ。1998年早稲田大学卒業。2009年ペンシルバニア大学ウォートンMBA取得。ソニー株式会社にて11年間ラテンアメリカ市場におけるセールスマーケティングに従事。国内投資ファンドにて執行役員に。ソニー元社長兼会長の出井伸之氏が設立したクオインタムリープ株式会社のエグゼクティブパートナーとして、多数の日本企業の海外進出を実行支援。2014年モビルス株式会社に参画、代表取締役社長に就任。（現役）趣味：スキューバダイビング（ダイブマスター資格取得）、釣り、山登り

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。